

和歌山だより

平成26年 9月号



日置川（白浜町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P10
3. ふるさと歳時記…………… P11～P12

「和歌山デスティネーションキャンペーン」が、9月14日からいよいよ始まります。
是非、和歌山へお越しく下さい！



よそからの権威

我が和歌山県の偉人南方熊楠の事跡に神社合祀令反対運動があります。国家神道を強化するため、全国にたくさんある神社をまとめていこうと国が明治39年神社合祀令を発しました。和歌山県は素直な県民性か、全国の中でも特にこれに熱心で、3,713社あった全県の神社が明治44年には790社になってしまいました。

そうすると神社を中心にまとまっていた村々のコミュニティも寂れ、社叢の森として保存されていた貴重な植生も失われます。「お上」の命令だといって、ほいほい従わず、その善悪をよく見極めて敢然と立ち上がった南方熊楠は偉いのです。これは明治政府が行い、全国の国民が流されてしまった愚行の一つですが、今も類似のことが起こる恐れは十分にあり、その因は我々の心の中にあります。

私が知事になって県庁内で強く指導した事は、外部の権威を借りてきて、仕事を済ませるなどという事です。「国の指導です。判断です。」「全国的なコンサルタントの仕事の結果です。」「弁護士さんが言っています。」「巨大シンクタンクが書いてくれました。」「大PR会社に委せましょう。」こう言えば、楽に庁内が通ってしまうというのがかつての現実でした。そう言っていれば楽に仕事ができるのです。

私がこれを否定したのは、経験上、上記のような「権威」の内幕をよく知っているということと、本当は自分で考えればできるという職員の優秀さが分かっていたからです。他の権威に頼るなどと言われると、当初は皆大変だったと思います。しかし、その結果、全国植樹祭は手作り、最も安上がりでかつ史上最高のものができましたし、和歌山県で職員が考えた「過疎集落再生・活性化支援事業」や「和歌山県避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準」が国全体の事業として採用されるなど、どんどんと成果が出つつあります。

神社合祀令の時もそうでしたが、実はこのような事は県民の皆さんに起こりうる危険です。「お上」の意向や、マスコミなどがそうだと報じる「世論」の動向、世間の「風、空気」などを盲信して、流される事なく、県民のすべての人が自分の頭でじっくりと事の是非を考えてみられることを期待します。



8/26 山東省友好提携30周年
記念訪問団との面談にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●南紀熊野ジオパークが日本ジオパークに認定！！

・8月28日、日本ジオパーク委員会が開催され、審査の結果、「南紀熊野」地域が日本ジオパークに認定されることが決定しました。南紀熊野ジオパーク推進協議会会長の仁坂知事は、喜びとともに、「この地域が地質学的に重要な場所であるだけでなく、大地に育まれた南紀熊野の自然や文化の素晴らしさと、これらの地域資源を生かした地域の活動が日本ジオパークにふさわしいと評価されたと考えている。日本ジオパーク認定を契機に、南紀熊野地域のより一層の活性化を図るとともに、世界にも南紀熊野ジオパークをアピールし、早期に世界ジオパークの仲間入りができるよう取り組んでいく。」と意気込みを話しました。

・日本ジオパーク認定が最終目標ではなく、世界ジオパーク認定に向けての取組が始まったばかりです。推進協議会では、今後、地元の方と一層協力しながら、ジオサイト説明板の整備、ジオステーションの設置、ジオパークの紹介DVDの作成、ジオパーク関連の出版物の作成、ホームページの拡充及び多言語対応等、世界ジオパークの条件を整えるための取組を推進していきます。



●世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年記念シンポジウム開催！

・8月9日、グランフロント大阪(大阪市北区)において、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の特色やその価値、保全や活用の将来像について考える機会を提供するため、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県(和歌山・三重・奈良)協議会が主催となってシンポジウムが開催されました。

・冒頭、同協議会会長の仁坂知事は、「三県で世界遺産の保全と活用をそれぞれやってきたが、今日皆さんに、『紀伊山地の霊場と参詣道』について少しでも知っていただき、この世界遺産について再認識していただきたい。」と挨拶しました。

・その後、前文化庁長官 近藤 誠一氏、I C O M O S 国内委員会委員長 西村 幸夫氏による「国内外の世界遺産の状況について」と題した対談や、仁坂知事もパネラーとして参加した「世界遺産が抱える課題や今後の展望(提言)」と題したパネルディスカッションなどが実施され、知事からは、参詣道の保全活動や次世代の育成など和歌山県で取り組んでいる事例が紹介されました。



● JR大阪駅で「わかやまDC」の共同発表会

・8月4日、「和歌山ステーションキャンペーン」開幕まで1か月余りとなったことを受け、大阪ステーションシティ(大阪市北区)において、同キャンペーン推進協議会会長の仁坂知事やJR西日本和歌山支社 川井 正支社長らが報道関係者に向けてPRしました。



・発表会では、「きいちゃん」や「わかぼん」、「たま駅長代理」らも駆けつける中、仁坂知事は、「和歌山に

は『パンダ』や『たま駅長』をはじめ世界遺産『高野・熊野』など魅力ある観光資源がたくさんあります。さらに、期間中は特別企画やイベントなど楽しんでいただける企画も盛りだくさん。是非、和歌山へお越しください。」とアピールしました。

・なお、特別記念コンサートも以下のとおり開催されますので、是非、この機会に和歌山にお越しください。すべて入場無料ですが、整理券の申込みが必要なものもありますのでご注意ください。

○特別記念コンサート

白浜ビーチコンサート	
出演	稲垣 潤一(歌手)
開催日	平成26年9月14日(日)
時間	14:00~15:30
場所	白良浜(白浜町)
整理券	不要



和み、和らぐ。
和歌山から
はじまる旅。

和歌山ステーションキャンペーン
2014年9月14日(日) → 12月13日(土)

世界遺産「高野・熊野」コンサート			
	松尾 依里佳(ヴァイオリニスト)	出演	花*花(歌手)
	平成26年9月27日(土)	開催日	平成26年10月11日(土)
	14:00~15:30	時間	18:00~19:30
	高野山金剛峯寺 壇上伽藍(高野町)	場所	熊野本宮大社 旧社地・大斎原(田辺市)
要(応募期間は終了しています)		整理券	要(定員600名・9月24日締切)



	秋田 慎治(ピアニスト)	出演	華原 朋美(歌手)	
	平成26年10月25日(土)	開催日	平成26年11月8日(土)	
	18:00~19:30	時間	18:00~19:30	
	熊野那智大社 那智の滝前(那智勝浦町)	場所	熊野速玉大社 拝殿前(新宮市)	
要(定員200名・10月8日締切)		整理券	要(定員600名・9月11日正午整理券応募受付開始)	

・お申し込み方法など詳しくは、こちらを御覧ください。 <http://dconcert.jp/>

●わかやま紀州館の姉妹店が続々オープン

- ・ 8月1日と8月4日、県内の2つの経済団体が主体となった「わかやま紀州館」の姉妹店が、東京の八重洲と関西空港に相次いで開設されました。
- ・ アンテナショップ「わかやま紀州館」は、平成16年に東京有楽町に首都圏でのPR拠点として県が開設し、県産品の販売や観光情報などを発信し、本年2月に開設10周年を迎えたところです。
- ・ 今後、官民一体となったネットワークにより、首都圏や海外からのお客さんなどへの県産品の売込活動を強化し、和歌山県を積極的にPRしていきます。
- ・ それぞれのお店の概要は以下のとおりです。お近くにおいでの際は、是非、お立ち寄りください。

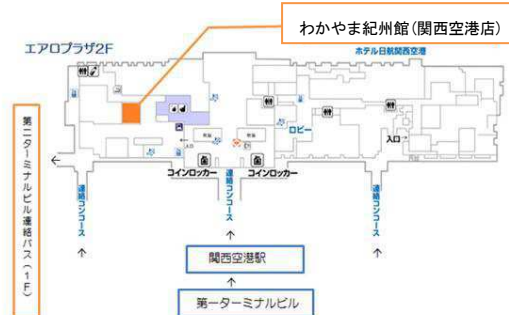
○わかやま紀州館(いこら店)

開設主体：和歌山県商工会連合会 会長 森田 敏行
 開設日：平成26年8月1日～平成27年3月31日(年中無休)
 営業時間：11時～20時
 場所：東京駅前八重洲ビル1階(東京都中央区八重洲2-1-4)
 店舗構成：今週(月)の目玉品コーナー、和歌山プレミアムコーナー、伝統工芸品コーナー、スイーツコーナー、和歌山の銘酒コーナーほか
 店舗概要：有楽町の本店と連携しながら首都圏で県産品情報を発信
 県内から食品と工芸品等の関連企業173社の約1,300品を展示、販売



○わかやま紀州館(関西空港店)

開設主体：和歌山県中小企業団体中央会 会長 妙中 清剛
 開設日：平成26年8月4日～平成27年3月31日(年中無休)
 営業時間：6時30分～22時
 場所：関西国際空港エアロプラザ2階(大阪府泉佐野市泉州空港北1番地)
 店舗構成：伝統工芸品コーナー、プレミアム和歌山コーナー、国体PRグッズコーナー、県産品販売コーナー、県外産品コーナーほか
 店舗概要：国内外から関西を訪れる旅行客等をターゲットに、首都圏のわかやま紀州館と連携しながら県産品情報を発信
 県内から食品と工芸品等の関連企業98社が参加し約375品を展示、販売

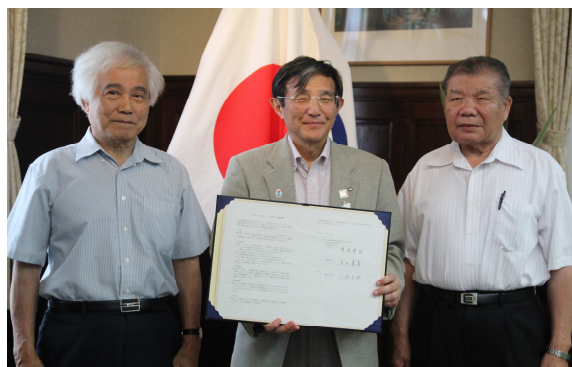


●和歌山がふるさとになる！「大学のふるさと」制度開始

・9月1日、県が今年度の新政策として独自に取り組み始めた「大学のふるさと」制度に基づき、県、羽衣国際大学(堺市西区)、湯浅町が協定書に調印しました。仁坂知事は、「第1弾として羽衣国際大学と湯浅町に縁組みをしていただいたことに大変喜んでいる。学生さんには湯浅町にしょっちゅう来ていただいて、色々な社会勉強をしてほしい。また、湯浅町は、羽衣国際大学との交流を通じて元気になるのでは。」と期待を込めました。



・この制度は、人口の減少や少子高齢化の進行により地域活力が低下している過疎地域において、人材育成のための実践的教育や地域貢献活動に対する関心の高い大学が、地域の方々とともに地域課題の解決に向けた協働活動をしながらか継続的に交流する取組で、この度、第1弾の調印となりました。



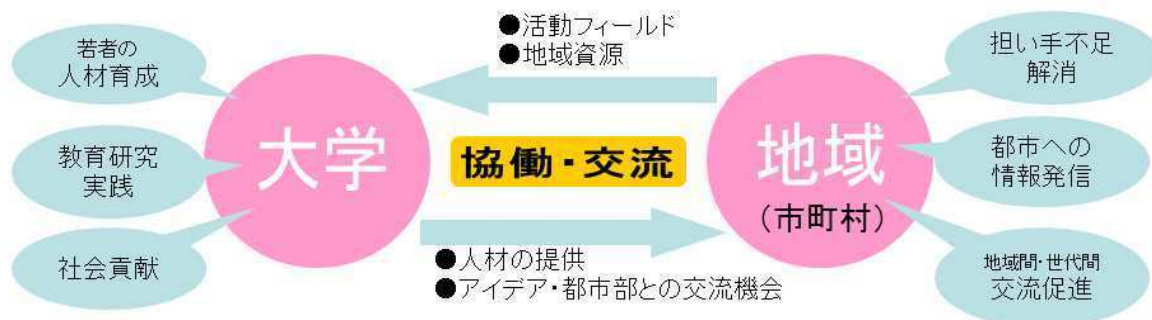
・今後、“ふるさと”湯浅町の伝統食材である「醤油」や「金山寺味噌」の魅力を、大学と地域が協働で発信することにより地域を活性化するとともに、将来にわたり地域と大学(学生)との関係を構築することを目指します。

・県では、主に都市部に所在する大学に制度をPRし、多くの市町村と大学がこの制度を利用して継続的に交流を深めることで、過疎地域の課題解決につなげていけるよう取り組んでいきます。

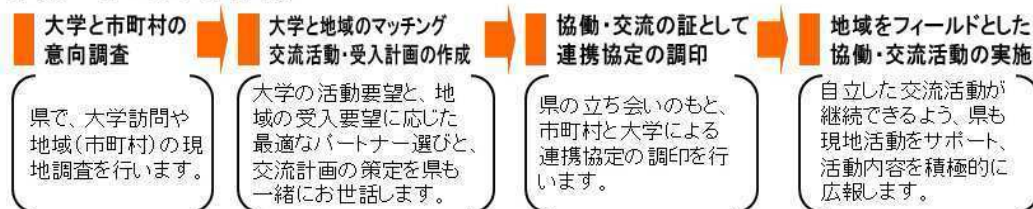
概要

都市部の大学と地域の連携をトータルでサポート、継続的な交流を推進

- <目的> ●地域においては、大学の知力や人的パワーを地域活性化に活かす
 ●大学においては、学生の育成、研究・実践及び社会貢献の場
 ●地域間、世代間交流につなげ、大学卒業後も将来にわたり続く関係を構築
- <しくみ> ●過疎化や高齢化に伴う様々な課題を抱える地域と、活動フィールドを求める都市部の大学のニーズをマッチング
 ●大学と地域(市町村)の継続的な連携を総合的にサポート



【大学のふるさとの進め方】



● 2014年モンド・セレクション受賞事業者が受賞報告

- ・ 9月2日、世界各国の食品メーカーが出品する代表的な食品コンクール「モンド・セレクション」を受賞した県内事業者の方々が、受賞報告のため仁坂知事を訪問しました。
- ・ 今回、受賞が確認できた企業は23社で、県特産品である梅や醤油、お菓子、水など39商品が世界的に高い評価を受けました。とりわけ、田端酒造 株式会社の「羅生門龍寿」は26年連続での最高金賞受賞と、今年も世界最高記録を更新しました。
- ・ 仁坂知事からはお祝いの言葉とともに、「モンド・セレクションの受賞を機に、海外に向けてもしっかり売り込んでください。」と期待を込め、受賞者の 株式会社 伊藤農園 伊藤 よしみ副社長は、「八朔や清見など和歌山の特産果実は認知度が低いので、全世界に知っていただけるよう努力していきます。」と今後の意気込みを話しました。
- ・ 皆さんも、是非、受賞賞品をお買い求めください。



○モンドセレクション受賞者23社39品(県把握分)

事業者名	受賞商品	受賞内容
(株)アセロラフーズ <田辺市>	アセロラ黒酢	最高金賞【6年連続】
	グルコサミン アセロラ黒酢	金賞【5年連続】
有田川町水道課 <有田川町>	有田川神聖水	金賞【新規】
E H製菓(株) <田辺市>	黄金の哲学(カステラ)	金賞
(株)伊藤農園 <有田市>	きよみしぼり	金賞
	みかんしぼり	金賞【6年連続】
	はっさくしぼり	金賞【新規】
	不知火しぼり	金賞【新規】
(有)雲水 <日高川町>	釣鐘まんじゅう	金賞【8年連続】
おざきのひもの <串本町>	かますのひらき	銀賞【新規】
(株)角濱ごまどうふ総本舗 <高野町>	ごま豆腐	金賞【8年連続】
川口水産(株) <有田市>	きざみうなぎの蒲焼	金賞【4年連続】
(株)木の国 <湯浅町>	キウイシャーベット	銅賞【新規】
(株)紅梅園 <田辺市>	デザート 梅の夢	最高金賞【7年連続】
サカイキャニング(株) <橋本市>	霊峰高野山 大師の水 500ml	最高金賞【6年連続】
(株)大覚総本舗 <かつらぎ町>	和風ﾌﾞﾗｯｼﾞ Ⅰ 胡麻ふるり 白胡麻	銀賞
	和風ﾌﾞﾗｯｼﾞ Ⅰ 胡麻ふるり 黒胡麻	銅賞
	深山の恵み 聖地高野山系の水	金賞
田端酒造(株) <和歌山市>	羅生門 龍寿 純米大吟醸	最高金賞【26年連続】 ※世界最高記録
(株)トノハタ <みなべ町>	紀州アイス梅(9粒・16粒)	最高金賞【2年連続】
	岩惣の梅(12粒・20粒)	金賞【2年連続】

中野 BC(株)	〈海南市〉	大吟醸「紀伊国屋文左衛門」(黒)	最高金賞【3年連続】
		純米吟醸「紀伊国屋文左衛門」	金賞【新規】
		紀州梅酒「紅南高」	金賞【3年連続】
		梅工キス 紀州の赤本「梅真珠」	金賞【新規】
(株)南紀白浜 富田の水	〈白浜町〉	南紀白浜 富田の水 1.3L	最高金賞【13年連続】
(有)深見梅店	〈上富田町〉	フルーツ梅干	銀賞【6年連続】
(名)丸正酢醸造元	〈那智勝浦町〉	那智黒米寿	最高金賞【8年連続】
		梅黒酢	金賞【2年連続】
丸新本家(株)	〈湯浅町〉	丸新ゆずぼん酢	金賞【7年連続】
		九曜むらさき	最高金賞【9年連続】
(有)港屋	〈白浜町〉	柚もなか	銀賞【5年連続】
(有)紅葉屋本舗	〈串本町〉	本練羊羹 竹皮包み	金賞【7年連続】
		柚子羊羹 竹皮包み	金賞【8年連続】
(株)山本進重郎商店	〈和歌山市〉	美人湧泉ROYAL 500ml	金賞【2年連続】
		美人湧泉ROYAL 2L	金賞【2年連続】
		美人湧泉 500ml	金賞【3年連続】
		美人湧泉 2L	金賞【3年連続】
湯浅醤油(有)	〈湯浅町〉	生一本黒豆醤油	最高金賞【9年連続】

●和歌山県食材がANAのファーストクラスの機内食に採用！

・9月1日から11月末までの期間、ANAの成田・羽田発欧米路線のファーストクラス・の機内食メニューに、農商工連携で開発された 築野食品工業 株式会社の「山椒香味油」が採用されることとなりました。

・これは、県が海外での「わかやま産品」ファン獲得を目的に、航空会社各社の国際線利用客をターゲットにした販路開拓活動に取り組んできたことによるものです。

○メニュー：ファーストクラス 洋食のメインディッシュ

「子羊チャップのグリル テンメンジャンソース」
付け合わせとなる椎茸の味付けに使用されます。

○採用商品：築野食品工業(株)「山椒香味油」

県内の山椒生産者や食品メーカーなど24の組織が参加する「紀州山椒の会」※において、こめ油メーカー 築野食品工業(株)と山椒生産者 かんじゃ山椒園が連携して開発した山椒加工品。

平成25年2月20日に発売開始以来、首都圏での和歌山フェアでお使いいただくなど、各方面で好評を得ています。

サラダにパスタに冷奴、色々な料理に使用でき、採れたての山椒のような芳醇な香りと刺激が楽しめます。

※紀州山椒の会…本県の山椒の認知度を高め、販路の拡大を目的に平成23年10月20日に発足。本会には、県のイニシアティブにより、県内生産者、JA、食品メーカー、市町村、公設試験場など24の組織・団体が参画。

・なお、この商品は築野食品工業(株)のHPから購入できます。

<http://www.tsuno.co.jp/>



●アジア最大級の国際食品見本市「香港 FOOD EXPO 2014」へ県ブースを出展！

・8月14日から8月18日にかけて、香港コンベンション&エキシビジョンセンターにおいて開催されたアジア最大級の国際見本市「香港FOOD EXPO 2014」に、和歌山県ブースを出展しました。



・今回の出展は、県が昨年、香港貿易発展局と都道府県としては初めてとなる経済協力促進を目的としたMOU(覚書)を締結したことによるものです。

・同見本市には、以下の県内企業5社が参加し、梅酒や日本酒、梅干し、100%みかんジュース等を出品。東南アジアを中心とした食品バイヤー等に和歌山の優れた県産品を売り込みました。26か国・地域から1,182社・団体が出展、約46万人が来場し賑わう中、安全・安心で健康にもよい「おいしい！健康わかやま」をPRしました。

企業名	所在地	主な出展製品
田端酒造(株)	和歌山市	日本酒
梅光園ワールド商会(株)	和歌山市	梅干等
(有)樽の味	御坊市	浅漬けの素、ぬか床
中野BC(株)	海南市	梅酒
(株)伊藤農園	有田市	100%みかんジュース、マーマレード等

●南方熊楠記念館新館整備寄附金に係る感謝状贈呈式及び特別講演会開催

・白浜町の南方熊楠記念館は、植物学・菌類学者としてのみならず民俗学の創始者でもある和歌山県が生んだ博物学の巨星 南方 熊楠の遺した偉大な業績と遺徳を偲ぶため、昭和40年4月に開館しました。文献、標本類、遭品等を永久保存し一般に公開するとともに、博物学の巨星を後世に伝え、学術振興と文化の進展を目的としています。

・6月号でもお知らせしましたが、来年の開館50周年を機に、より魅力的な施設とするため、また、番所山公園の中核施設として郷土文化への理解を促進するため、新館を整備することとし、全国の熊楠ファンからの寄附金を募集しています。

・8月21日、同記念館において、新館整備のために多額の寄附金をいただいた橋本市出身で京都大学 中辻 憲夫教授に、記念館理事長の仁坂知事から感謝状及び記念品を贈呈し、続いて記念館の顧問への委嘱状が交付されました。



・その後、県立田辺高校・中学校の生徒約40人が参加する中、「科学者の仕事と夢」と題した中辻教授による特別講演会も開催され、基礎研究から応用へと繋ぐ研究の重要性について話され、生徒たちも聞き入っていました。

・中辻教授は、日本で初めてヒトES細胞株を作り出し、現在はES細胞の研究成果をもとにiPS細胞への応用、そして学際融合研究を展開させています。



・なお、南方熊楠記念館では、平成28年3月31日まで、新館建設のための寄附金を募っています。

●山東省との友好提携が30周年を迎えました

・8月26日、本県が初めて海外と友好提携を結んだ中国山東省から、李 栄(り えい)外事弁公室副主任を団長とする友好提携30周年記念訪問団9人が、仁坂知事を表敬訪問しました。

・訪問を受けた仁坂知事は、「今回の30周年を契機に、さらに実質的交流を深めていきたい。」と述べ、李 栄団長も、「山東省は和歌山県との交流を重視しており、これからもさらなる交流を進めていきたい。」と期待を込めました。

・これまで、県と山東省は経済貿易・観光・文化・教育・青少年・環境等幅広い分野で様々な交流を重ねてきました。平成19年11月には、「友好交流関係の発展に関する覚書」を締結し、より実質的な交流を展開しています。

・また、30周年記念事業として、8月27日から9月3日の間、和歌山市の和歌山ビッグ愛において、「山東省観光写真展・回顧展」を開催しました。山東省が誇る観光地の写真50点、和歌山県と山東省との交流の歴史を振り返る写真40点を展示し、会場は多くの来場者で賑わいました。



●家具固定施工事業者登録制度を創設しました

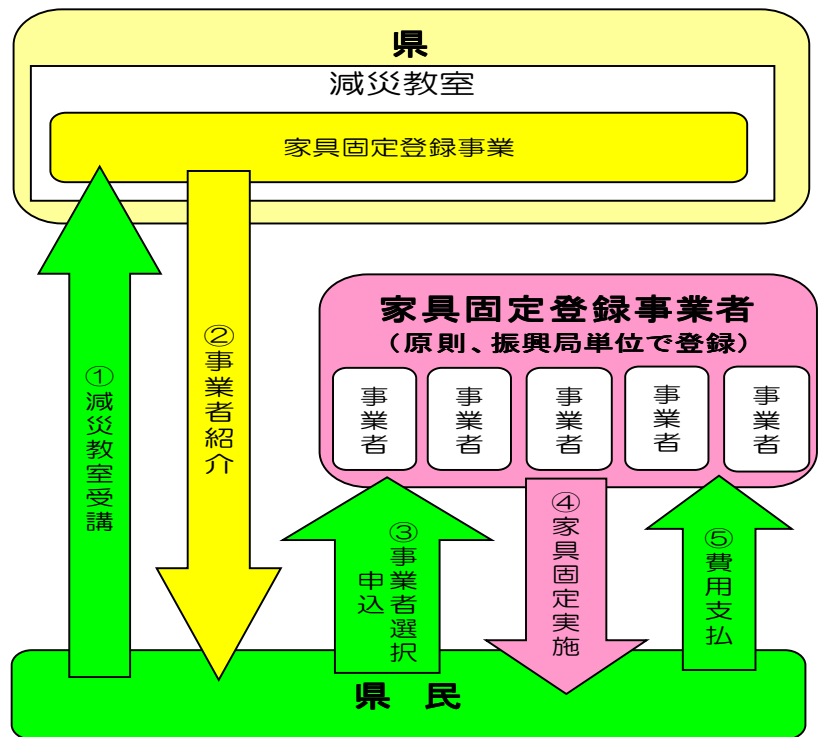
・県では、地震による家具等の転倒を防止し、かけがえのない命を守るため、これまで家具固定に関する要援護者世帯向けの事業や講座・実習を実施するなど、家具固定の普及に努めてきました。

・今回、さらに家具固定を推進するため、自分で取り付けることが困難な方や家具固定施工事業者がわからない方でも家具を固定できるよう、家具固定施工事業者の登録制度を創設しました。

・登録事業者については、「出張！減災教室」受講者に紹介するとともに、県のホームページに掲載し、広く県民の皆さんにお知らせしています。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/gyousyaitiran.html>

・なお、当制度を活用して家具を固定する場合は、有償です。

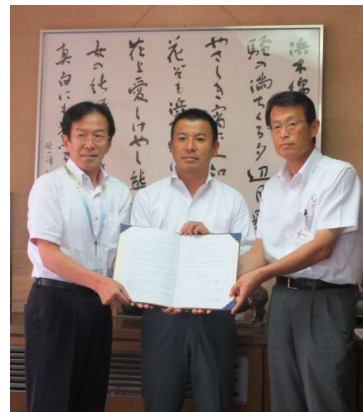


●メディスト株式会社が白浜町へ進出

・ 8月5日、メディスト株式会社(本社：東京都中野区)が白浜町へ進出することが決定し、白浜町役場において協定調印式を開催しました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は129件となりました。

・ 平成18年設立の同社は、主に全国の動物病院向け医療機器、中性電解水等の卸売事業を行っています。今回、同事業の拡大や自社ブランドの製品展開に対応する受発注業務を強化する新たな拠点として白浜町ITビジネスオフィスに事業所を開設し、現在東京にある本社機能を移す運びとなりました。

・ 操業開始は今年9月に予定されており、県内新規地元雇用者29名が見込まれています。



●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金の寄附企業・団体に感謝状贈呈

・ 8月7日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金(きいちゃん募金)に多額の寄附をいただいた企業・団体に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。

・ 仁坂知事はお礼とともに、「開催準備は着々と進んでおり、総合優勝に向けて、良い指導者が来てくれて競技力も向上しています。」と現在の状況を話しました。

・ 提供いただきました寄附金は、両大会のボランティア活動や県民運動などの大会運営経費に活用させていただきます。



○寄附企業・団体

企業名	出席者	企業・団体名	出席者
スガイ化学工業(株)	永岡 雅次 代表取締役社長 武田 晴夫 専務取締役	和歌山県製薬協会	山本 隆造 会長 深谷 亜由美 副会長
(株)田所建設	田所 勉 代表取締役	(株)丸和	中尾 正人 総務部課長

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会への助成団体に感謝状贈呈

・ 8月20日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会に多額の助成金をいただいた 公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団(出席者：水野 明人 会長、野中 正則ミズノ(株)営業本部関西支社長)に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。

・ 仁坂知事はお礼とともに、「会場もほぼ整備が完了し、道路も『国体まで』を合言葉に随分整備ができています。後は、総合優勝できるかどうかです。」と現在の状況を話しました。

・ 提供いただきました助成金は、国体の運営経費に活用させていただきます。



イベント情報(9月11日~10月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
9/13	高芝の獅子舞	那智勝浦町下里	那智勝浦町観光産業課 0735-52-5311
9/13	空の日フェスタ2014	白浜町・南紀白浜空港	南紀白浜空港管理事務所 0739-42-2348
9/14	日置川鮎釣り大会 あゆまつり	白浜町・向平キャンプ場	日置川町漁業協同組合 0739-53-0023
9/14	粉河とうろう祭	粉河町・とんまか通り	粉河とうろう祭実行委員会 0736-74-3000
9/15	三輪崎八幡神社例大祭 (鯨祭り)	新宮市・三輪崎八幡神社	新宮市観光協会 0735-22-2840
9/21	筆供養	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
10/1 10/2	印南祭	印南町・印南漁港ほか	印南町観光協会 0738-42-1737
10/4 10/5	御坊祭	御坊市・小竹八幡神社	小竹八幡神社 0738-22-0089
10/4	(大宮祭)よみさし祭	岩出市・大宮神社	大宮神社 0736-62-2433
10/4	クエフェア	日高町・ 比井崎漁業協同組合市場	日高産業建設課 0737-32-3111



高芝の獅子舞は、260年以上の歴史を誇り、9つの演目をもつ県民俗重要無形文化財に指定された獅子舞です。獅子頭は、赤漆塗り鼻黒の雄獅子、桐のくり抜き彫りで、熊野地方の獅子舞の中で勇壮と典雅を兼ね備え、その芸が高芝に伝わる元住吉神社祭典の伊勢流の獅子舞であるといわれています。

自然・風物情報(9月中旬～10月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
9月中旬	イセエビ漁解禁	串本町・下田原漁港	和歌山東漁協下田原支所 0735-74-0131
9月中旬	スイフヨウ開花	岩出市・ 植物公園緑化センター	植物公園緑化センター 0736-62-4029
9月中旬	くり拾い	かつらぎ町・観光農園	かつらぎ町産業観光課 0736-22-0300
9月中旬	極早生温州みかん 出荷始まる	有田市	J Aありだ 0737-53-2311
		田辺市	J A紀南 0739-23-3513
9月中旬	あらぎ島で稲刈り	有田川町・あらぎ島	有田川町ふるさと開発 公社 0737-25-0221
9月下旬	彼岸花が開花	県内各所	
9月下旬	ハギ見頃	和歌山市・四季の郷公園	四季の郷公園 073-478-0070
		本宮町湯峰	旅館あづまや 0735-42-0012
9月下旬	一面秋色のススキ	紀美野町、有田川町 ・生石高原	紀美野町産業課 073-489-5901
10月上旬	「落ちアユ」漁解禁	県内各河川	県内水面漁協連合会 073-423-7853
10月上旬	キジョウロウホトギス見ごろ	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
		すさみ町・佐本西野川	すさみ町キジョウロウホトギス 生産組合 0739-57-0453



旬が9月中～10月中旬と秋の味覚を代表するくりは、県内では昭和40年代前半にかつらぎ町で栽培が始まり、現在では9haほどで栽培されています。代表的な品種は「銀寄」、「森早生」、「筑波」で、観光農園を中心に、かつらぎ町で最も多く栽培されています。県内はもとより大阪方面からも、くりを求めてかつらぎ町を訪れます。焼き栗、蒸し栗、栗ごはんでおいしくいただきます。

～編集後記～

最近、朝夕めっきり涼しくなり過ごしやすくなりましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。和歌山市では、今年の8月は5年ぶりに猛暑日がゼロと、うだるような暑さの日が少なく、拍子抜けの夏という気がいたしました。

県内では、週末の相次ぐ天候不順により観光地は打撃を受けました。一方で嬉しいニュースとして、南紀熊野ジオパークが「日本ジオパーク」に認定されることが決定しました。これまで認定に向け取り組んでこられた方々や、地元を守ってこられた皆さんの喜びもひとしおかと思えます。しかし、記事でも紹介しましたが、目標は世界ジオパーク認定とまだまだ高いところにありますので、これまで以上に関係の皆さんと協力しながら取組を進めていかなければなりません。私も、先日、紀南地方に出かけることができましたので、「橋杭岩」「虫喰岩」に立ち寄って参りました。和歌山を代表する素晴らしい景勝地であり今まで訪れたことはありませんでしたが、虫喰岩の不思議な姿を見、橋杭岩がどのようにしてできたのかを知り、改めて自然の神秘や地球の大きな力を肌で感じるような気がいたしました。皆さんの中にも訪れたことがある方もいらっしゃると思いますが、日本ジオパーク認定地という視点で見ただけであれば、新たな魅力を感じていただけるのではないのでしょうか。

もう一つ、別の意味での自然の恵みである県特産の梅についての話題です。多くの機能性を有することは知られていましたが、県立医科大学の研究チームが、梅に含まれる抗酸化成分が不妊症に効果があると発表しました。今後も調査が継続されるそうですが、また一つ梅の新たな力が発見され、梅の消費拡大だけでなく、子どもを産みたいと希望する方の少しでもお役に立てるのではないかと期待も膨らみます。

私の大好きな夏が終わり少し寂しい気がしますが、秋は行楽シーズンです。和歌山では、「DESTINATIONキャンペーン」が9月14日からいよいよ始まります。滅多に見ることのできない秘宝等の特別公開や、期間限定での景勝地のライトアップなど見どころ満載です。7月号で紹介したHP<<http://www.wakayamadc.jp/>>も参考に、是非和歌山にお越しください。

また、季節の変わり目ですので、体調にはくれぐれもお気をつけください。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2014年(平成26年)9月 NO.77

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022